**さくらさくら・・・の歌で歓迎される**

**アンビカ、フルマヤ、サトヤの学校訪問　　　岩谷　栄子**

７月13日、６期生の選考委員会を終えて、ネパールガンジに向かった。Jumla,Doti,Dolupaのどこか飛行が可能なところのチケットの獲得に奔走し、やっとJumla行きがゲットできた。10時30分Jumla Airport に到着、万歳！！！！　周りは山々、空気はおいしく、緑が美しい。サテヤが待っていてくれた。まもなくアンビカもやってきた。しばらくぶりの再会に本当にうれしく抱き合って喜びあった。

**アンビカの家庭訪問**

30歳違いの夫と死別した母親は、３人の子をもうけたが、兄二人は病死、アンビカ１人が頼りである。妹夫婦の家族に身を寄せ、生活してきたという。その話を聞きながらアンビカはクルタのショールの端で涙をぬぐう。きっと大変な人生だったのかと思う。そのような暗さは微塵も見せず、気丈に頑張っていたアンビカが愛おしい。また、「JNFEAとしてこのような少女の夢を叶えてあげられることができたのだから良かったね。」とクリシュナさんが評価してくれた。ほんとに良かったと胸が熱くなった。

**アンビカの授業　　５歳児　英語**

16人の可愛い園児がナマステの姿で私たちを迎えてくれた。

低音の落ち着いたアンビカの声で、今日の授業のタイトル　What is it？　の可愛いカードが提示され、スタート。教室環境がとても整備され、掲示物、教材、教具も教室いっぱいだ。教室に敷き詰められた赤い敷物に壁に背を向けて、コの字に16人が並んでいる。

　単語の勉強をいくつかしてから、パネル布を白板に張り付け、「ごろごろさん」が始まった。思わず感動。。。使ってくれている。パネルシアターを。３人の子がさくら寮で歌ったあの「ごろごろ。。。。。」の歌を歌い、上手に発表し、皆大喜び。

**フルマヤの授業　　７年生　保健**

　49人の中学２年生の子どもたちも、私たちを大歓迎してくれた。フルマヤは、いわば穴埋めの教員らしい。まだ、１か月しか教員の経験がない。欠勤の先生のところの授業をするようだ。生徒分の椅子と机があり、ここでもコの字に並べられていた。「水」についての学習であった。雨水と川の水の比較から、どのようにして綺麗な水をつくるかという学習、教材本があり、それを提示しながら、大きな声で一生懸命であった。生徒たちも集中して授業を受けていた。授業が一段落してから、10人位の生徒代表が「さくら」を歌ってくれたのだ。いつの間にこんな準備を。。。。サプライズに驚いたり嬉しかったり・・・・

**サトヤの授業　　４年生　ネパール語**

「猫とネズミ」の話である。猫を退治しようとネズミたちが知恵を絞って、とうとう猫を退治する話である。日本でも絵本を見たことがある。机・いすは足りず、一列目には椅子に座り、２列目は前列の椅子に足を置き、２列目の机に腰をかける。書くときは自分の膝の上、という具合に重なりあうように座っている状態であった。それでも熱心に授業を受けていた。

大きな声で模範朗読をしていた。まだ１カ月しか教員としてやっていないのだが、とても堂々と取り組んでいた。授業展開等についは今後学んでいけることであろう。日本での授業で、ロールプレイでこの作品を扱っていた授業を見たことがあるので、そんな工夫もありかとサテヤに話すも、重なるように座っている子どもたちには、それも難しい注文であろうと悲しい・・・・・・・